

船橋市立医療センターNews No.12

●発行年月日/平成24年4月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 高原 善治
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



「ひたち海浜公園チューリップ」(茨城県) 当院職員撮影



医療の質を高めて

船橋市立医療センター院長 高原 善治

新年度を迎え当院では、医療の質を高める目的で新たに2人の副院長が誕生しました。診療局技監であった多部田弘士先生、診療局長の丹羽淳子先生が4月より副院長に就任しました。多部田先生は地域連携および緩和ケア診療の要となっており、また丹羽先生は医療情報システム、物流システムの整備を中心に院内の調和を図ることを担当していただきます。新しい診療局長には外科部長の丸山尚嗣先生に就任していただきました。また、長年救急救命センター長として当院の救急医療を築き、支えていただいた金弘先生が3月末日で定年退職され、後任には境田康二先生に就任していただきました。今後は救急・麻酔・集中治療の3つの部署を1つのグループとして診療に当たっていただき、また新人職員の育成にも貢献していただければと思います。

一方、当院では各診療科の医師は多くの者が専門医の資格を取得しております。また、予ねてより専門看護師・認定看護師の育成、獲得に心がけてきましたが、現在は、慢性疾患、糖尿病、がん性疼痛、感染など10名のスペシャリストが在任しています。これらの看護師たちが担当医師とともに各々のチームの中心となり、多職種の職員と連携して更に質の高い医療に取り組んでいこうとしています。また、新たに専門・認定看護師の取得を目指しているものたちもいます。今後も、専門医や各部署のスペシャリストを目指し職員の教育、育成に力を入れ、医療の質を高めていきたいと思っています。

目次

院長あいさつ..... 1	副看護師長制度を導入しました..... 7
病院事業管理者あいさつ/人事異動紹介..... 2	呼吸器内科 中村純医師が日本臨床生理学会優秀論文賞を受賞!! ... 8
救命救急センター長あいさつ/新任者あいさつ..... 3	被災地への医療支援を行った当院の医師が船橋市医師会から表彰されました ... 8
専門看護師・認定看護師の紹介..... 4~5	当院の医療救護班の活動に対し千葉県知事より感謝状が贈呈されました!! ... 9
当院の治験時報..... 6	「災害看護初期対応セミナー」が当院で開催されました!! ... 9
船橋市立医療センター中期経営計画がスタート..... 7	第9回 公開医療講座/路線バスの乗り入れがスタート ... 10
船橋市立医療センターが「DPC病院Ⅱ群」になりました..... 7	第5回 がん市民公開講座/看護師(正規・パート)募集 ... 11
	外来担当医師一覧表..... 12

24年度がスタート ～さらなる診療機能の充実と経営改善を力強く進めます～

船橋市病院事業管理者 鈴木 一郎

平成21年4月に地方公営企業法全部適用に移行後、3か年の改革プランに基づき、経営改善に取り組んできました。その中で、急性期医療を行う地域医療支援病院としての方向性が明確になり、DPCへの移行、7:1看護配置基準の取得、そして歯科口腔外科の開設など診療機能の充実と共に、初期の目標をはるかに凌ぐ経営改善を達成することができました。24年3月には新京成バスが正面玄関まで乗り入れるようになり、3か年の総ての計画が終了し、医療センターは大きく変わったと皆が感じていると思います。

引き続きこの経営改善と診療機能の充実を進めるために、24年度から新たな3か年の中期経営計画を策定しました。目標の第一に経費の削減をあげましたが、4月から早速物流のSPD方式を導入しました。薬剤も数値目標を持ってジェネリック医薬品を取り入れていきます。診療機能では、救急部門を中心として医師、看護師の確保を目標とし診療体制の強化をあげました。各科のチームワークの良さが必要となる重度外傷センターを考えています。また、患者さんが安心して退院できるように退院調整看護師を配置するなど地域医療連携室の体制も整えていきます。24年度は、院内保育所

の新たな建設、災害拠点病院としての十分な非常用自家発電設備の整備、そして25年度予定の電子カルテの導入に向けた準備など忙しくなりそうです。

中期経営計画を強力に進めるため、副院長を4人制とし、同時に組織改正を行い、医局、看護局、薬剤局、事務局の4局制に組織を変更し院内体制の強化を図りました。組織の横断的連携を図り病院運営を確かなものにしたと思います。

今回の診療報酬改定では、全国の約1500のDPC病院は、I群（大学病院本院）、II群（大学病院本院以外の高診療密度病院群）、そしてIII群（一般急性期病院）の3つの医療機関群に分けられました。船橋市立医療センターは、II群、即ち大学病院本院以外の高診療密度病院群に認定されました。このことは私たちの取り組んできた、救急医療、高度医療、そして研修医の育成などが高く評価されたもので、誇るべきものです。自信を持って、これからの中期経営計画を進めて行きたいと思います。



人事異動紹介

医 局	新 任 者		退 任 者
副 院 長	丹羽 淳子	多部田弘士	
診 療 局 長	丸山 尚嗣		丹羽 淳子
救命救急センター長	境田 康二		金 弘
診 療 局 技 監	境田 康二		多部田弘士
麻酔科・集中治療部部长	境田 康二		
医 療 技 術 部 長	丸山 尚嗣		丹羽 淳子
地域医療連携室長	多部田弘士		唐澤 秀治

看 護 局	新 任 者
副 看 護 局 長	新沢 邦江
ICU・CCU看護師長	白石 文
手術室看護師長	新山 文代
A5病棟看護師長	小松 邦子
A7病棟看護師長	富迫 里美
B5病棟看護師長	内匠伊佐子
E3病棟看護師長	石井 洋子



診療科名	採 用 者				退 職 者			
呼 吸 器 内 科	山岸 一貴				安田 直史			
消 化 器 内 科	高城いぶき	石神 智行	今関 洋		桜井 健洋			
循 環 器 内 科					上岡 智彦			
小 児 科	奥主健太郎	小林 雅代	藤田真祐子	植田 真依	中村 公則	小林 弘信	吉田 未識	島崎 俊介
外 科	夏目 俊之	水藤 広	大塚 亮太	柳原 章寿	宮川 起平	豊住 武司	松本 泰典	
整 形 外 科	橋本 瑛子	榎本 隆宏			山口 毅	金塚 彩		
形 成 外 科	坂本奈津紀				岡田 宇広			
脳 神 経 外 科	陶山謙一郎				疋田ちよ恵			
心 臓 血 管 外 科	榎本 吉倫							
皮 膚 科	中川誠太郎				山本 洋輔			
泌 尿 器 科	五島 悠介	黄 和吉			宮本 憲生	滝澤 一晴		
産 婦 人 科	嶋田 秀仁				和氣 清美			
耳 鼻 い ん こ う 科	福本 一郎				伊原 史英			
麻 酔 科	井原 稔文							
救命救急センター	境田 康二	水嶋 知也	高橋 梓	三浦 剛史	金 弘			

※ 人事異動に伴い、外来診療体制が変更しています。(詳しくは、12ページをご覧ください。)

救命救急センター長あいさつ



前 救命救急センター長
金 弘

3月31日をもって定年退職いたします。在職中のご指導、ご厚情に深く感謝いたします。当初国保旭中央病院から唐澤先生とともに赴任し、脳神経外科部長として船橋市の脳神経外科診療の確立に努力いたしました。その後救命救急センター長として、救急全般のマネジメントを行いました。病院併設型のセンターとして、各科の先生方、同僚および後輩の先生方に支えられ、どうやら切り抜けてきたというのが実感です。この間ドクターカーの運用、市民とともに考える救急医療シンポジウム、救急白書などの事業に参画し、船橋市の救急医療の発展に参与しえたのは望外の喜びです。救急医療が医療センターの柱として確立するのを見届けて病院を去ることができ、思い残すことはありません。皆様のご健闘をお祈りいたします。



金先生ありがとうございました



新 救命救急センター長
境田 康二

4月1日付けで金弘救命救急センター長の後任を拝命しました。金センター長は全国に先駆けドクターカーシステムを構築、またトリアージ型の（救急医が救急患者を選別する）救命センターの運営にご尽力され、この地区における救急システムを確立されました。これを引き継ぎ、船橋に住んで良かったと言われるような救急医療の充実を図りたいと思います。

常々思う事ですが医療従事者には3つの“H”が求められます。

1. Head：頭すなわち最新の知識
2. Hand：手すなわち最新の技術、スキル
3. Heart：心すなわち患者さんを思う気持ち

医療の原点である救急医療では知識、技術は当然として特に熱いハートを持って日々の診療が行われる必要があると思います。救急医療のコンビニ化が叫ばれる昨今ですが、やはり困った時に安心してかかることの出来る病院が地域に存在する事の意義は大きく、特に重症患者さんに対しては最後の砦となる病院としての責務を果たして行きたいと思います。

新任者あいさつ



副院長
丹羽 淳子

新体制でスタートした船橋市立医療センターにおいて、4月1日付けで副院長を拝命致しました。

震災復興、放射能問題、少子高齢化社会など多くの課題を抱える時代ではありますが、医療センターはここ数年、様々な面で少しずつですが、着実に改善をしてきていると思います。医師、看護師をはじめ各部門の専門家がお互いにプロ意識を持って、連携を取りながら、より良い診療ができるように努力をしています。医療センターの医療者のそんな気持ち、患者さんにしっかりと伝わるように、そして今後ますます信頼される、安心できる医療を提供できるように努力をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



副院長
多部田 弘士

この度、副院長を拝命しました。私が今担当している緩和ケア内科の役割は、がんとの戦いを終え、これからがんと仲良くやって行こうという患者さんが安楽に過ごせる場を提供することです。その中で感じるのは、がん患者さんが確実に増えていることです。これは他疾患でも同じで、今後病院での患者さんの受け入れや看取りは限界に達すると予測されており、我が国の医療政策の大きな課題となっています。その打開策の一つとして期待されているのが、地域医療連携です。患者さんは普段住み慣れた地元で家族や主治医に囲まれて生活し、必要に応じて病院の外来や病棟を利用し、また地元に戻るといった地域循環型のシステムです。その様なことが実現されることを思いながら、患者さんと病院のために微力を尽くすつもりです。



診療局長
丸山 尚嗣

船橋市立医療センターは開院以来多くの方々の努力によって市民が頼りにする素晴らしい病院に発展してきました。今回、診療局長を任せられ身が引き締まり、浅学の身ながらその責を果たすべく力を尽くす所存です。

23年前に赴任した際、新人の自己紹介の欄に半分は冗談で『歌って踊れる外科医』を目指すと書いたのを憶えています（当時カラオケ全盛で、私もヤンチャでした）。さて今回の着任挨拶にあたり何かキャッチフレーズは……そうだ！ ホノルルマラソン完走をもくろむ私なので、『走る診療局長』はいかがでしょう。このフレーズには、院内もあちこち走り回って、最近良くなってきた当センターの風通しをさらに良くできればという願いを込めたいと思います。よろしく申し上げます。

専門看護師・認定看護師の紹介

今回は、当院で活躍している専門看護師・認定看護師について紹介します。

医療が高度化する中で、看護師もますます水準の高い看護が求められる時代になりました。

専門看護師は看護師として5年以上働いた後、大学院でがん看護や小児看護等、10の専門分野のいずれかの修士課程を修了し専門的な活動を行う、看護師の中の専門家（スペシャリスト）です。**認定看護師**も看護師として5年間以上働いた後、糖尿病や認知症看護等21の専門分野の中から教育研修を6ヶ月～1年受けて認定されます。どちらも、日本看護協会が、「看護師の中でも特定の看護分野でのスペシャリスト」として資格認定を行っています。

当院では、1名の専門看護師と9名の認定看護師が、専門性を活かし活躍しています。

1月25日には院内看護師のための「災害看護シンポジウム」を開催し、複数のスペシャリスト達がそれぞれの立場から「災害時の看護」について講演しました。

専門性は違いますが、お互いの知識を出しあい、院内で働く看護師が質の高い看護実践を行えるような教育活動を行っています。

また、外来の一角に看護外来があり、糖尿病や皮膚排泄ケアのスペシャリストが担当し、外来患者さんの相談、生活指導、ケア等を行っています。



慢性疾患看護専門看護師 **曾根 晶子**

私は糖尿病看護を主に専門とし、火・金曜日に糖尿病看護外来を行っています。糖尿病を中心とした患者さんや家族の方が、生活者として生き生きと生活習慣病などと上手にお付き合いできるよう支援させていただいています。



糖尿病看護認定看護師 **野間 弘子**

糖尿病の悪化を防ぎ、患者さんご家族が健康な生活を送るために実行できる療養方法を共に考え、継続できるお手伝いをする役割があります。入院患者さんの他、金曜日に糖尿病看護外来の担当もしております。患者さんご家族があまり負担を感じることなく、生活を楽しみながら治療を続けていただけることを目標にしています。



がん性疼痛看護認定看護師 **杉森 久美**

痛みや吐き気といった身体的苦痛、がんになった悲しみ、治療への不安など、患者さんご家族の負担となっている苦痛を1つでも取り除き、笑顔でいられるお手伝いをすることが私の役割です。緩和ケアチームに所属し、他職種と協力して活動しています。



感染管理認定看護師 池崎 陽子

私の役割は「患者さん・ご家族・来院された方・職員を感染から守ること」です。感染対策の基本は手洗い（手指衛生）です。どうしたら職員や皆様に手を洗ってもらえるかを日夜考え、感染予防の為、感染対策チームを組み、組織横断的（職種を超えて全部署）に活動しています。



皮膚・排泄ケア認定看護師 大塚 真由美

皮膚を健やかに維持することや、様々な原因によって傷ついてしまった皮膚へのケアを行っています。現在は皮膚・排泄ケア認定看護師が2名いますので、私は褥瘡（床ずれ）^{じよくそう}の予防・治療ケアを主に行なっています。スタッフへのアドバイスも行いながら、患者さんの入院生活が安全・安楽であるように努めています。



皮膚・排泄ケア認定看護師 渡邊 理恵

皮膚は外界から私たちの身体を守ってくれる大切な臓器です。この皮膚を健康な状態（生理機能を良好）に保ち、傷ついた皮膚を健康な状態へ回復させることが私の役割だと考えています。患者さんへのストーマケアなどを行い、看護スタッフからの相談や正しいスキンケアを広めるための活動をしています。

救急看護認定看護師 君野 寿美

救急は交通事故や突然の病気の発症で運ばれてくる方が殆どです。患者さんやそのご家族の方の問題を的確に把握し、支援することが私の役割になります。また、当院は災害拠点病院の役割を担っているので、その機能を果たせるように災害対策の取り組みも行っています。



集中ケア認定看護師 加藤岡 美紀

集中ケア認定看護師の役割は、呼吸や循環など重大な障害があり、人工呼吸など高度な医療を必要とする患者さんとそのご家族を支援することです。日々、患者さんが「今」よりも良くなるためのケアを考えて看護をしています。集中治療室で活動することが多いのですが、一般病棟においても対応するケースは多くなってきています。



手術看護認定看護師 阿部 晋大 (手術室)

私は、患者さんが一大決心で臨まれる手術を「安心して受けられる」「安全に終わる」ことを目標に、手術で受ける影響を最小限にできるよう手術看護に取り組んでいます。

また、手術看護認定看護師として、手術室看護師の育成にも取り組んでいます。



摂食・嚥下障害認定看護師 上野原 温子

私の役割は、病気で口から食べることが難しくなった患者さんが、再び食べることができるよう手助けすることです。一人でも多くの患者さんが口から食べられる楽しみを得ることを目標にご家族とともに考えて活動しています。

当院の^ち治^{けん}験時報

当院の治験への取り組みは、平成21年10月にスタートしました。翌年4月から治験管理室として本格稼働し、早くも2年が過ぎようとしています。1年目に実施に至った治験は5件、2年目は10件と順調に成績を伸ばして来ました。治験を実施している診療科も、循環器内科、整形外科、呼吸器内科、産婦人科、代謝内科、外科、消化器内科と徐々に増えています。製薬会社が治験を実施する医療機関に求めることは、(1) 対象となる患者さんが多いこと、(2) 迅速であること、(3) 決められた手順を守って正確に行えることです。

治験は新薬開発の為に必ず行う試験であり、人を対象とした臨床研究という分野に属しています。薬は、基礎研究、非臨床試験、臨床試験と言われる研究に10年から15年の時間をかけ誕生します。薬の候補を探し出す基礎研究に2～3年かかり、そこで見いだされた薬の候補達を動物に使用する非臨床試験に3～5年を費やして、漸く薬としての効果を得られるものが選別されます。もちろん実際に使用するのは人ですから、人間にとって効果があるか、使用量はどれ位が適当か、またどんな副作用が起こるか等を調べなければなりません。それを臨床試験と言い、まずは健康な人に協力していただく第1相試験、患者さんに使用していただく第2相試験、第3相試験と続きます。このうち、当院で行っているのは第2相試験、第3相試験です。この第1相から第3相試験には3年～7年ほどの年月がかかり、その後、厚生労働省で1～2年の時間を掛けて試験の成績について審査、承認され、『くすり』と認められるわけです。

もちろん、治験はどんな病院でも行っているわけではありません。研究を行える知識と技量があり、医療機器も整っていなければなりませんし、臨床検査や放射線検査などの信頼度も求められます。加えて、全て書類によって管理されているので、事務部門のスタッフの協力も欠かせません。この様に、病院全体で取り組むことも大切な要素となります。

当院で1年目に行った5件の治験では、多くの患者さんにご協力いただいたお蔭でスピーディーに行うことができました。また、医師をはじめ院内スタッフが、正確さを求められる治験を真摯に受止め、実施に努めてくれた事も2年目への評価につながったと考えています。

治験は、患者さんのご協力がなくては始まりません。もちろん、治験によるメリットとデメリットはあります。治験は患者さんの状態を科学的に調べなければならず、決められたルールに従って行うという多少の煩雑さや、まだ解っていない副作用があるかも知れないなどのデメリットがある一方、より新しい治療を受けられることや、通常診療以上に行われる検査により体調管理されるなどのメリットもあります。つまり治験とは、世の中で求められている薬を創り出す為の“人助け”つまりボランティアでもあるわけです。

当院としても、新薬の開発に携わることにより得られる最新の情報を、医療の現場に還元できることは、医療の質の向上を促すことにもなります。今後も、新しい医療へ挑戦し、新しい知識を吸収するというプラスの連鎖が定着することを期待しています。患者さんとそのご家族の方々の、ご協力をお願いいたします。



治験管理室スタッフ

中期経営計画がスタートします

副病院局長（事務局長） 林田 豊



平成21年3月に作成された船橋市立医療センター改革プランでは、医療センターの使命と役割を再確認するとともに、船橋市域の中核病院として救急医療を主体とする急性期医療、高度医療、緩和ケアなどの医療を継続的に提供できるよう経営の健全化を図るべく目標を掲げて取り組むこととしました。職員が一丸となり数々の取組みを進めてきた結果、3か年計画の最終年度である23年度において、プランで掲げた数値目標等をほぼ達成することができました。

しかし、船橋市域の医療を取り巻く環境は、医師・看護師不足はもとより、急速に進む高齢社会への対応、景気の低迷、近い将来発生する確率が高いといわれている関東・東海地域を震源とする大地震への備えなど大変厳しい状況にあります。医療センター

が市民の皆さんの健康を守る船橋市の中核病院として、また、地域医療支援病院として、さらに発展していくためには、経営の健全化に向けた弛まぬ努力をしていくことが重要です。そこで、次期3か年計画として船橋市立医療センター中期経営計画を作成しました。

24年度は、災害拠点病院として施設は耐震構造になっているものの、診療に必要な電気を確保するために、非常用発電設備を改修します。また、病院と地域の診療所等との医療連携を図るため地域医療連携室の機能を強化します。さらに、重度外傷センターの設立や320列CTスキャナ装置の導入など診療機能の強化に努めてまいります。中期経営計画は当院ホームページでご覧いただけます。

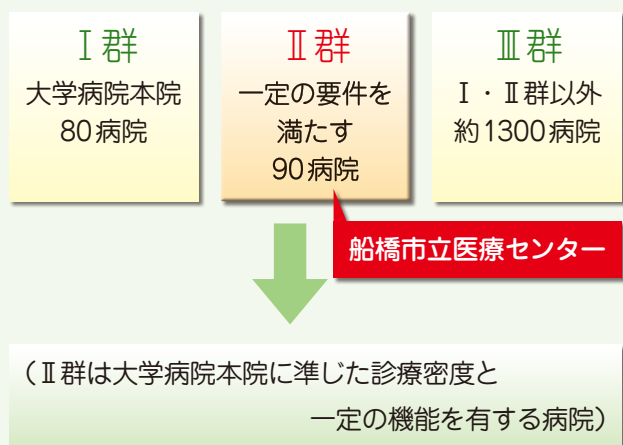
TOPICS

船橋市立医療センターが「DPC病院Ⅱ群」になりました

平成24年診療報酬改定で、全国で1500あるDPC対象病院（包括評価方式）が機能や役割に応じⅠ群、Ⅱ群、Ⅲ群に分類されました。

Ⅰ群は大学病院本院群（80病院）、Ⅱ群は高診療密度病院群（90病院）、Ⅲ群はその他の急性期病院群（約1,300病院）となっております。

当センターは、Ⅱ群の大学病院本院に準じた診療密度と一定の機能を有する病院として、大学病院本院相当のグループに位置づけられました。



副看護師長制度を導入しました

当院の役割を果たすために、看護部では平成23年12月1日より副看護師長制度を導入し、組織の強化を図りました。看護師が生き生きと仕事ができるように副看護師長は看護師長を助け、患者・家族のケアの実践及び指導、看護職員の教育、チーム医療の推進等の役割をもち、病棟の運営にあたります。

風通しの良い組織となるように努力していきます。

副院長（看護局長） 中野 由紀子

呼吸器内科 中村純医長が 日本臨床生理学会優秀論文賞を受賞！！

当院呼吸器内科の中村純医長が、平成23年11月4日に日本臨床生理学会において、「息切れに注目した慢性閉塞性肺疾患の早期発見の可能性について」の論文で優秀論文賞を受賞しました。

受賞した中村医長は、「慢性閉塞性肺疾患はCOPDと略され、最近テレビなどでも注目されている疾患で、主にタバコの煙によって引き起こされる肺の機能障害です。息切れや咳、痰などを伴い、呼吸がうまくできなくなり、重症化すると日常生活にも支障をきたします。肺炎などを合併すると死に至る可能性も十分にあります。COPDにならないためにはタバコを吸わないことが第一です。喫煙している方でも禁煙によって肺機能の低下を遅らせることができます。また、症状を改善させる吸入薬などもあります。喫煙歴があり上記のような症状のある方がいらっしゃいましたら早めに病院を受診し、肺機能検査を行うことをお勧めいたします。」と、予防、早期発見、早期治療の大切さを呼びかけています。



被災地への医療支援を行った当院の医師が 船橋市医師会から表彰されました

船橋市医師会の理事会において、東日本大震災後に被災者に対し医療を通じた物的・人的支援をおこなった方へ、感謝の意を表すことが決定されました。

12月の船橋市医師会忘年会の席上で、実際に被災地に赴き、医療支援をおこなった方々の表彰式が行われました。

当院からは、医師7名が表彰され、代表の佐藤やよい外科医長に船橋市医師会長より感謝状が手渡されました。

今回、船橋市医師会より表彰された当院の医師は次の通りです。



医療機関名	名前(敬称略)	医療支援を行った被災地
船橋市立医療センター	小林 豊	宮城県石巻市
	佐藤 やよい	
	野手 洋雅	
	栃木 透	
	有馬 孝博	岩手県陸前高田市
	上岡 智彦	
	黒岩 信行	

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

当院の医療救護班の活動に対し 千葉県知事より感謝状が贈呈されました!!

平成24年1月12日（木）千葉県庁本庁舎にて感謝状贈呈式が開催され、被災地の復旧・復興に大きく貢献した団体へ千葉県知事から感謝状が贈呈されました。式には、千葉県で支援活動を行った方々、および東北地方などの被災地で支援活動を行った県内の自衛隊、消防、医療機関、各種団体の方々が招待されました。当院からは高原院長が出席し、千葉県からの要請で東日本大震災の被災地へ赴き、医療支援活動をした当院の医療救護班の功績に対し、千葉県知事から感謝状をいただきました。

千葉県知事との記念写真
（高原院長は写真の前段右から
4番目（知事の隣））



「災害看護初期対応セミナー」が当院で開催されました!!



トリアージ後、緑エリアで待機する被災者
写真：日本救急看護学会より提供



病院入口でトリアージをしています
写真：日本救急看護学会より提供

平成24年1月21・22日に、日本救急看護学会が主催する「災害看護初期対応セミナー」が当院で開催されました。このセミナーの目的は、救急看護領域が担う災害看護のあり方を検討し、災害初期看護を普及させる事です。更に、各地域において災害支援システムを構築すると共に、災害発生時に施設内で多数の傷病者の受け入れができる事を目指しています。

セミナーでは、講義・机上シミュレーション・模擬被災者を用いた災害訓練を行いました。災害訓練には、医療センター職員37名を含む70名がボランティアとして参加。模擬被災者の熱演により、臨場感あふれる訓練となりました。

模擬被災者を経験された皆さんからは、「良い経験が出来た」「実際に災害が起きた時に自分はどのように行動したら良いのか考えた」「実際に被災者役になる事で気付く事があった」など、防災意識を高める良い機会になったという多くの声がありました。

救急看護認定看護師：君野寿美

当院では病院ボランティアを募集しています。詳しくは、医事課まで。

「インフルエンザ・ノロウイルス予防対策」を開催しました

第9回 公開医療講座



石けんと流水の手洗い手順をスライドと身振りで説明しました

12月22日（木）に船橋市民文化創造館きららホールにて、第9回公開医療講座『インフルエンザ・ノロウイルス予防対策～手洗い（手指衛生）は感染予防の第一歩～』を開催しました。

今回は病院内の色々な部門で、組織横断的に院内感染対策を行っている、感染管理認定看護師の池崎副看護師長が、今年も流行しているインフルエンザやノロウイルスの予防対策について講演しました。

ばい菌は目に見えませんが、手の上でどんどん増えていきます。帰宅時、食事前やトイレの後など機会を見つけて手を洗う事や、咳エチケット、マスクの正しい使用方法、嘔吐物の処理方法など、家庭で役立つ具体的な感染予防策についてお話し、参加された方々はメモをとりながら熱心に聴いていらっしゃいました。聴講するだけでなく、数人の方に手を洗ってもらい、手洗いがうまく行えているか、洗い残しの多い部分がどこにあるかがわかる手洗い訓練キットを実際に使っていただく参加型の講座となり好評でした。

TOPICS

3/24 路線バスの乗り入れがスタート ～敷地内にバス停を整備～

当院の利便性向上と交通安全対策を目的とした、当院の敷地内へバス停を移設する工事が終了し、3月24日土曜日の船橋駅北口発金杉台団地行き始発バスより、当院敷地内への乗り入れが開始されました。これにより、道路を渡らずにバスに乗り降りができるようになりました。当日は、初乗り入れを記念し、始発バスの運転手の方へ、当院から花束が贈呈されました。なお、船橋駅北口行きのバス停はこれまでどおりです。

工事期間中は来院者の皆様に、大変ご迷惑をおかけしました。また、ご協力に感謝申し上げます。



初乗り入れを記念して花束の贈呈



船橋駅北口からのバスが敷地内に乗り入れています

当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

第5回 がん市民公開講座

「がんのクスリ」を開催しました



今年で第5回目（毎年3月開催）となる「がん市民公開講座」が3月4日（日）に開催されました。今回のテーマは『がんのクスリ』です。日進月歩を続ける抗がん剤治療ですが、その種類と効き方、副作用とその対策について、最新の知識をわかりやすく解説いただきました。また当院では平成21年に外来化学療法室が新設されていますが、外来点滴による抗がん剤治療の実際について化学療法室で撮影した多くの写真を使ってご案内しました。内服や静脈点滴による投与方法に加え、皮下埋め込み型ポートや動注化学療法といった投与方法についても具体的にお話しされました。さらに、がんの痛みに用いる薬についても一般の方々にしばしばみられる



誤解を少しでも解いて、がんの痛みから患者さんが解放されるようにお話がありました。

今回はがん治療の専門医師ばかりでなく専門の薬剤師や看護師も講師として加わり、進歩してきたがんの治療がいろいろな職種のプロによるチームにより支えられて患者さんに恩恵をもたらしていることが実感される公開講座でした。

看護師（正規・パート）募集

平成24年度募集概要

- 資格／看護師・助産婦免許をお持ちの方又は、25年3月までに取得見込みの方
- 募集／看護師（正規・パート）・助産師（正規・パート）
- 休日／4週8休制
（パート職員の場合は、勤務日数・時間の相談に応じます。）

※詳細は当院ホームページをご覧ください。総務課庶務班までお問い合わせください。

※看護職を対象とした病院説明会を開催しています。日程は、当院ホームページをご覧ください。

今後の試験実施予定（常勤正規職員）

採用予定日	試験日	受験申込期間
24年 8 月 1 日	6 月 16 日（土）	24年 5 月 1 日～ 31 日
24年 10 月 1 日	8 月 18 日（土）	24年 7 月 1 日～ 31 日
24年 12 月 1 日	10 月 14 日（日）	24年 9 月 1 日～ 30 日
25年 2 月 1 日	12 月 15 日（土）	24年 11 月 1 日～ 30 日
25年 5 月 1 日（※）	25年 3 月 3 日（日）	25年 1 月 1 日～ 31 日

採用予定日は、上記の月に限らず調整できる場合がありますので、お問い合わせください。

（※）25年3月に看護師免許取得見込みの方と看護師免許取得後勤務経験のない方は4月1日採用可



救急医療、がん医療、地域医療に発展的にがんばっている病院です。
一緒に働きませんか。
パートは随時募集中です♥

外来担当医師一覧表

平成24年4月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	石神 智行 鈴木 泰俊 小林 照宗	前川 祐子	下山 立志	関根有希子	[交替医]	新患月曜の第1・3鈴木、 第2・4・5小林 消化器の(火)の水本、(水)の 安藤、(木)の関、(金)の小林 は予約患者のみ
	呼吸器	中村祐之・山岸一貴	徳田敦子・中村純	多部田弘士・山岸一貴	中村祐之・中村純	多部田弘士・徳田敦子	
	消化器	水本 英明	水本 英明 関 厚佳 高城いぶき	安藤 健 小林 照宗	水本 英明 関 厚佳	小林 照宗 安藤 健 今関 洋	
	代謝	岩岡 秀明	下山 立志	鶴岡 明	下山 立志	岩岡 秀明	
ター 心臓血管セン	循環器内科	予約 杉岡 充爾 稲垣 雅行	福澤 茂 沖野 晋一	前川 潤平 稲垣 雅行	杉岡 充爾 市川壮一郎	福澤 茂 池田 篤史	心臓血管外科の手術の相 談は、循環器内科でも応 じます 午後1時30分から ※第1・3・5高原 ※第2・4 茂木
	新患	前川 祐子	市川壮一郎	沖野 晋一	池田 篤史	前川 潤平	
	心臓血管外科	[手術日]	高原善治・茂木健司	[手術日]		[手術日]	
緩和ケア内科				[交替医]	[交替医]		午前9:00～ 予約患者のみ
精神科		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		新患は事前予約が必要
小児科		木谷 豊 小林 雅代	佐藤 純一 坂井 美穂	丹羽 淳子 奥主健太郎	木谷 豊 藤田真祐子	[交替医] 坂井 美穂	
外科		丸山 尚嗣 松崎 弘志 宮崎 彰成 [交替医]	渡辺 義二 夏目 俊之 佐藤やよい [交替医] [手術日]	丸山 尚嗣 松崎 弘志 山本 悠司 [交替医] [手術日]	田中 元 齋藤 洋茂 [交替医] [手術日]	唐司 則之 松崎 弘志 宮崎 彰成 [交替医]	(月)の松崎、(火)の丸山は 午前のみ
整形外科		[交替医] 金塚 彩 [手術日]	池之上純男 高瀬 完 [交替医]	三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純	[交替医] 遠藤 純 [手術日]	[交替医] 橋本 瑛子 [手術日]	予約のない患者は (月)・(木)・(金)
形成外科		[手術日]	薬丸 洋秋	薬丸 洋秋	[手術日]	坂本奈津紀	
脳神経外科		唐澤 秀治 [交替医] 鈴木 健也	[交替医] 唐澤 秀治 [手術日]	畑山 和己 根本 文夫 唐澤 秀治	唐澤 秀治 安間 芳秀 [手術日]	内藤 博道 唐澤 秀治	
呼吸器外科		内田 修 一ノ瀬修二	[手術日]	内田 修 一ノ瀬修二	木下 孔明 [交替医]	[手術日]	(木)は内田・一ノ瀬が交替
皮膚科		宮川 健彦 中川誠太郎	宮川 健彦 中川誠太郎	[手術日]	宮川 健彦 中川誠太郎	[交替医]	予約のない患者は (月)・(火)・(木)・(金)
泌尿器科		武田 英男 [手術日]	佐藤 信夫 黄 和吉	[交替医] [手術日]	佐藤 信夫 五島 悠介	佐藤 信夫 滝澤 一晴	
産婦人科		鈴木 康伸 斉藤 俊雄	森竹 哲也 [交替医] [手術日]	斉藤 俊雄 佐川 泰一 [手術日]	鈴木 康伸 林 敏	林 敏 大淵 紫 [手術日]	
眼科		上原 七生 谷口 有子	松枝 美文 [手術日]	松枝 美文 [手術日]	上原淳太郎 上原 七生	上原淳太郎 谷口 有子	予約のない患者は (月)・(木)・(金)
耳鼻いんこう科		[手術日]	大塚雄一郎 福本 一郎	大塚雄一郎 福本 一郎	[交替医] 派遣医師 [手術日]	大塚雄一郎 福本 一郎	休診(月)
放射線科		青柳 裕			原 竜介		新患は事前予約が必要
麻酔科		[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	午前9:30～11:30 予約患者のみ
歯科口腔外科		村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	
特 殊 外 来	女性専用(内科)	大淵 紫		古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)		[交替医]				午後1:30～ 予約患者のみ
	神経内科(内科)			澤井 摂			午後1:00～ 予約患者のみ
	スプリント外来(心外)		桜井 学				午後1:30～
	ペースメーカー外来			稲垣 雅行			午後1:00～
	小児循環器(小児)	佐藤純一・[交替医] 奥主健太郎	松本 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)				林北見・牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回
	小児腎臓(小児)				秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回
	小児外科(外科)				中田 光政		
	脳神経内科(脳神経外科)			横田隆徳(3ヶ月に1回)		橋本 祐二	午前9:00～ 予約患者のみ
ペリクニカ(脳神経外科)		唐澤 秀治		唐澤 秀治			
膀胱外来(泌尿器科)				北村 温		第3木曜日の午後	

担当医師は、状況により変更することがありますので、ご了承ください。